

全 学 共 通 科 目 一 覧 表

科目区分	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業所要単位	
コミュニケーション系(演習系)	ゼミ	* 基礎ゼミ(2)				
		教養テーマゼミ(4)				
	コンピュータ	コンピュータ処理論A(2) コンピュータ処理論B(2)				
	スポーツ健康	個人スポーツA(1) フィットネスA(1) 障害者スポーツA(1)	個人スポーツB(1) フィットネスB(1) 障害者スポーツB(1)	チームスポーツA(1) シーズンスポーツA(1) 健康管理実習(1)	チームスポーツB(1) シーズンスポーツB(1)	2単位
	外国語基礎	基礎英語リーディング(2) 基礎英語コミュニケーション(2) 総合英語リーディング(2) 総合英語コミュニケーション(2)				4単位
		ドイツ語基礎A(2) ドイツ語基礎B(2) ロシア語基礎A(2) ロシア語基礎B(2) フランス語基礎A(2) フランス語基礎B(2) 中国語基礎A(2) 中国語基礎B(2)				4単位
	外国語演習		英語コミュニケーションA(2) 英語コミュニケーションB(2) メディア英語A(2) メディア英語B(2) サイエンス英語A(2) サイエンス英語B(2) 文化と英語A(2) 文化と英語B(2) 英語資格対策A(2) 英語資格対策B(2) 英語セミナーA(2) 英語セミナーB(2)			8単位
			ドイツ語演習I(2) ドイツ語演習II(2) ドイツ語応用I(2) ドイツ語応用II(2) ロシア語演習I(2) ロシア語演習II(2) ロシア語応用I(2) ロシア語応用II(2) フランス語演習I(2) フランス語演習II(2) フランス語応用I(2) フランス語応用II(2) 中国語演習I(2) 中国語演習II(2) 中国語応用I(2) 中国語応用II(2)	ドイツ語上級I(2) ドイツ語上級II(2) ロシア語上級I(2) ロシア語上級II(2) フランス語上級I(2) フランス語上級II(2) 中国語上級I(2) 中国語上級II(2)		
	自然の探究	数学A(2) 数学B(2) 統計学A(2) 統計学B(2) 物理学A(2) 物理学B(2) 化学A(2) 化学B(2) 地学A(2) 地学B(2) 生物学A(2) 生物学B(2)				4単位
	人間の探究	哲学A(2) 哲学B(2) 倫理学A(2) 倫理学B(2) 心理学A(2) 心理学B(2) 日本史A(2) 日本史B(2) 東洋史A(2) 東洋史B(2) 西洋史A(2) 西洋史B(2) 文学A(2) 文学B(2) 音楽A(2) 音楽B(2) 言語学A(2) 言語学B(2)				4単位
社会の探究	日本国憲法(2) 法学(2) 政治学A(2) 政治学B(2) 社会学A(2) 社会学B(2) 経済学A(2) 経済学B(2) 地理学A(2) 地理学B(2) 教育学A(2) 教育学B(2)				4単位	
新領域	女性学A(2) 女性学B(2) 健康科学A(2) 健康科学B(2) 環境科学A(2) 環境科学B(2) 情報科学A(2) 情報科学B(2) 平和論A(2) 平和論B(2)				2単位	
		異文化研究(2)				
テーマ		教養テーマ講義A(2) 教養テーマ講義B(2) 教養テーマ講義C(2) 教養テーマ講義D(2)				
	海外教養科目(4)					
	※はたらくこと/いきること(2)					

()内は単位数
表の卒業要件を超えて修得した単位は56単位までフロート単位として卒業所要単位に含めることができます。
*「基礎ゼミ」は開講されません。
※「はたらくこと/いきること」はフロート単位として卒業所要単位に含めることができます。

合計32単位

全学共通科目の履修上の留意点

大学においては専門的知識を身に付けるだけでなく、幅広く深い教養と総合的な判断力を培うためのカリキュラムが用意されています。全学共通科目には多様な科目が置かれていますので、『シラバス～授業計画～』を参考にして科目を選択し、総合的な知識を身に付けるとともに、論理的思考力とコミュニケーション能力を磨いて下さい。

ある程度まとまったテーマについて学んでみたいという人のためには、別冊の『教養テーマ履修モデルと教員紹介』に、各種テーマ履修モデルが示されていますので参考にして下さい。

<p>(1) 不開講科目 履修者数制限</p>	<p>履修希望者が極端に少ない場合、科目によっては、年度始めに担当教員と履修者との合意のうえで、その年度の授業を不開講とすることがあります。</p> <p>また、履修希望者が多すぎて授業に支障をきたす場合は、履修者数の制限を行うこともあります。初回の授業には必ず出席し、担当教員の説明をよく聞いて下さい。</p>																																				
<p>(2) 教養テーマゼミ</p>	<p>この科目を履修するには事前登録が必要です。『シラバス～授業計画～』を参考にして希望クラスを教務案内の頁の「事前登録カード」に記入して申込んで下さい。定員は各クラス25名程度です。</p> <p>受付方法・日時・場所については、履修・学生生活ガイダンスまたは掲示で案内します。</p>																																				
<p>(3) コンピュータ処理論A・B</p>	<p>この科目は履修者数制限科目です。履修希望者が多数の場合は自動的に抽選が行われ、履修が許可された場合は「履修時間割表」に科目名が表示されますので、初回の授業には必ず出席して下さい。詳細については履修・学生生活ガイダンスと掲示で連絡します。</p>																																				
<p>(4) スポーツ・健康</p> <p>履修制限</p>	<p>下表のスポーツ実技科目「A(春学期開講1単位)」と「B(秋学期開講1単位)」および「健康管理実習(各期開講1単位)」の中から卒業所要単位として2単位を修得して下さい。各科目、すべての種目が開講されるとは限りません。</p> <table border="1" data-bbox="539 1301 1385 1742"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>種目</th> <th>修得可</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(春) 個人スポーツA</td> <td>卓球・硬式テニス・バドミントン・ゴルフ</td> <td>このうち1種目</td> </tr> <tr> <td>(秋) 個人スポーツB</td> <td>卓球・硬式テニス・バドミントン・ゴルフ</td> <td>このうち1種目</td> </tr> <tr> <td>(春) ティームスポーツA</td> <td>バレーボール・バスケットボール・ソフトボール・サッカー</td> <td>このうち1種目</td> </tr> <tr> <td>(秋) ティームスポーツB</td> <td>バレーボール・バスケットボール・ソフトボール・サッカー</td> <td>このうち1種目</td> </tr> <tr> <td>(春) フィットネスA</td> <td>トレーニング・フィットネス</td> <td>このうち1種目</td> </tr> <tr> <td>(秋) フィットネスB</td> <td>トレーニング・フィットネス</td> <td>このうち1種目</td> </tr> <tr> <td>(春) シーズンスポーツA</td> <td>ダイビング(本年度は不開講)</td> <td>1科目</td> </tr> <tr> <td>(秋) シーズンスポーツB</td> <td>スキー(本年度は不開講)</td> <td>1科目</td> </tr> <tr> <td>(春) 障害者スポーツA</td> <td rowspan="2">下記説明参照</td> <td>1科目</td> </tr> <tr> <td>(秋) 障害者スポーツB</td> <td>1科目</td> </tr> <tr> <td>(春) 健康管理実習</td> <td rowspan="2">下記説明参照</td> <td rowspan="2">いずれか1科目</td> </tr> <tr> <td>(秋) 健康管理実習</td> </tr> </tbody> </table> <p>①各種スポーツ科目および健康管理実習は履修者数制限を行います。</p> <p>②各種目とも各セメスターにつき1種目しか履修できません。</p> <p>③科目名(A・Bの別)が異なる科目は履修可能ですが、同科目名で異なる種目は履修できません。</p> <p>④春学期・秋学期ともに一度決定した種目および曜日・時限は変更できません。</p> <p>《障害者スポーツA・Bについて》</p> <p>身体的な事情によって長期にわたり他のスポーツ種目の履修が困難と考えられる学生を対象とします。医療機関が発行する診断書が必要です。授業担当者と日常生活活動能力の面談を通して実施可能な運動について判断し授業を展開します。(必ず科目担当者に履修許可を得てから教務課で履修登録して下さい)</p>	科目	種目	修得可	(春) 個人スポーツA	卓球・硬式テニス・バドミントン・ゴルフ	このうち1種目	(秋) 個人スポーツB	卓球・硬式テニス・バドミントン・ゴルフ	このうち1種目	(春) ティームスポーツA	バレーボール・バスケットボール・ソフトボール・サッカー	このうち1種目	(秋) ティームスポーツB	バレーボール・バスケットボール・ソフトボール・サッカー	このうち1種目	(春) フィットネスA	トレーニング・フィットネス	このうち1種目	(秋) フィットネスB	トレーニング・フィットネス	このうち1種目	(春) シーズンスポーツA	ダイビング(本年度は不開講)	1科目	(秋) シーズンスポーツB	スキー(本年度は不開講)	1科目	(春) 障害者スポーツA	下記説明参照	1科目	(秋) 障害者スポーツB	1科目	(春) 健康管理実習	下記説明参照	いずれか1科目	(秋) 健康管理実習
科目	種目	修得可																																			
(春) 個人スポーツA	卓球・硬式テニス・バドミントン・ゴルフ	このうち1種目																																			
(秋) 個人スポーツB	卓球・硬式テニス・バドミントン・ゴルフ	このうち1種目																																			
(春) ティームスポーツA	バレーボール・バスケットボール・ソフトボール・サッカー	このうち1種目																																			
(秋) ティームスポーツB	バレーボール・バスケットボール・ソフトボール・サッカー	このうち1種目																																			
(春) フィットネスA	トレーニング・フィットネス	このうち1種目																																			
(秋) フィットネスB	トレーニング・フィットネス	このうち1種目																																			
(春) シーズンスポーツA	ダイビング(本年度は不開講)	1科目																																			
(秋) シーズンスポーツB	スキー(本年度は不開講)	1科目																																			
(春) 障害者スポーツA	下記説明参照	1科目																																			
(秋) 障害者スポーツB		1科目																																			
(春) 健康管理実習	下記説明参照	いずれか1科目																																			
(秋) 健康管理実習																																					

<p>履修方法 《春学期の履修方法》</p> <p>《秋学期の履修方法》</p>	<p>《健康管理実習について》</p> <p>キャンパスライフから生涯の健康維持・増進を主たる目標におき、個人カルテおよび運動処方箋の作成を試みる授業です。</p> <p>1年次は、4月初めの履修・学生生活ガイダンス時に、抽選で決定した種目(クラス)を案内します。抽選に漏れた方を対象に同ガイダンスで、再度希望調査を行います。初回授業はその種目もオリエンテーションを実施しますので、体育館(アリーナ)に普段着で集合して下さい。</p> <p>2年次以上がスポーツ科目を履修する場合、履修届に履修登録コードを記入せず、開講日に掲示板で受入可能な曜日・時限・種目を確認し、初回の授業に体育館(アリーナ)へ普段着で集合して下さい。</p> <p>6月初旬に掲示板で履修方法を案内します。1年次～4年次が対象です。</p>
<p>(5) 総合英語 基礎英語</p> <p>《復学者・編転入学者の履修について》</p> <p>《再履修について》</p>	<p>「総合英語リーディング」と「総合英語コミュニケーション」(各2単位)、または「基礎英語リーディング」と「基礎英語コミュニケーション」(各2単位)のいずれかのセットで合計4単位履修しなければなりません。但し、1年次で“基礎英語”の単位を修得した場合、2年次に降に“総合英語”を履修することはできませんが、卒業単位には4単位までしか算入できません。</p> <p>“総合英語”は大学生に相応しい英語力をめざすのに対し、“基礎英語”は必要に応じて英語の初歩に立ち戻って学習します。また、“基礎英語”を選択した場合には、学力の不足を補完するために、しばしば多くの自宅学習・課外学習が課されます。履修にあたっては、「事前登録カード」で申し込んで下さい。クラス編成は掲示で連絡します。</p> <p>すでに郵送されている「全学共通科目事前登録の手引き」に掲載されている「総合英語」、「基礎英語」の説明をよく読んで、総合英語・基礎英語の種別を選択して下さい。</p> <p>復学者・編転入学者は、教務課窓口へ申し出て下さい。</p> <p>・再履修は、未修得の科目を総合英語または基礎英語のどちらかで履修しなければなりません。1年次で開講されているリーディングまたはコミュニケーションのクラスで履修して下さい。</p> <p>・再履修にあたっては、「事前登録」が必要です。履修方法については、履修・学生生活ガイダンスおよび掲示板で連絡します。指示に従って再履修の申込み(事前登録)を行って下さい。</p> <p>※再履修の申込み(事前登録)は先着順で行い、各クラス定員になり次第締め切ります。</p>
<p>(6) 第二外国語</p>	<p>第二外国語はドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語が開講されています。</p> <p>《第二外国語基礎A・B》</p> <p>1年次は全員、第二外国語基礎A・Bを履修登録しなければなりません。第二外国語基礎A・Bの「事前登録カード」を履修・学生生活ガイダンスで回収し、クラス編成を掲示で連絡します。すでに郵送されている「全学共通科目事前登録の手引き」に掲載されている各語学の説明をよく読んで、履修を希望する外国語を選択して下さい。新1年次ガイダンス期間中に外国語担当教員による履修説明会も予定されています。</p> <p>《第二外国語演習Ⅰ・Ⅱ、応用Ⅰ・Ⅱ》</p> <p>第二外国語演習Ⅰ・Ⅱ、応用Ⅰ・Ⅱを履修する場合は、第二外国語基礎A・Bを両方修得済みか、履修登録をしていなければなりません。3年次以上でも履修することができます。履修希望者は必ず最初の授業に出席して下さい。</p> <p>《第二外国語上級Ⅰ・Ⅱ》</p> <p>第二外国語上級Ⅰ・Ⅱを履修する場合は、第二外国語基礎A・Bと、演習Ⅰ・Ⅱおよび応用Ⅰ・Ⅱの中の少なくとも2セメ分を修得済みか、履修登録をしていなければなりません。履修希望者は必ず初回の授業に出席して下さい。</p>

《復学者・編転入学者の履修について》	<p>《第二外国語基礎A・Bの履修について》</p> <p>復学者・編転入学者が第二外国語基礎A・Bを履修する場合は、教務課窓口へ申し出て下さい。</p>
《再履修について》	<p>《第二外国語基礎A・Bの再履修について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再履修は、1年次に履修した外国語と同一の外国語でなければなりません。やむを得ない理由で1年次と異なる言語の履修を希望する場合には、4月の開講日までに教務課窓口へ申し出て下さい。変更理由やクラス定員の問題により変更が認められない場合もあります。 ・再履修にあたっては、「事前登録」が必要です。履修方法については、履修・学生生活ガイドンスおよび掲示板で連絡します。指示に従って再履修の申込み（事前登録）を行って下さい。 ・再履修は、原則として自分の所属する学部で履修して下さい。但し、時間割の都合で不可能な場合は、他学部で履修することもできます。 <p>※再履修の申込み（事前登録）は先着順で行い、各クラス定員になり次第締め切ります。</p>
(7) 第三外国語	<p>1年次で履修した英語と第二外国語以外に、2年次以降に3つ目の外国語（基礎A・B、演習I・II、応用I・II、上級I・II）を修得して全学共通科目の卒業所要単位に算入することができます。</p> <p>第三外国語基礎A・Bを履修する場合は、第二外国語基礎A・Bの両方を修得済みでなければなりません。</p> <p>第三外国語の場合は基礎A、基礎Bいずれか一方でも履修できます。</p> <p>第三外国語演習I・II、応用I・IIを履修する場合には、第三外国語基礎Aまたは基礎Bを修得済みか当該年度で履修登録していなければなりません。</p> <p>第三外国語上級I・IIを履修する場合には、第三外国語演習I・IIおよび応用I・IIの中の少なくとも2セメスター分を修得済みか当該年度で履修登録していなければなりません。</p> <p>《第三外国語の履修申込みについて》</p> <p>第三外国語（基礎A・B、演習I・II、応用I・II、上級I・II）の履修希望者は、以下の手順で履修の申込みを行って下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教務課窓口で「第三外国語申込カード」を受け取り、必要事項を記入する。 ②履修を希望するクラスの初回授業に出席し、担当教員から履修の許可を得る。（申込カードに担当教員の承諾サインをもらい、「担当教員控」を教員に渡す。） ③申込カードの「教務課控」を切り離して教務課に提出し、教務課で履修登録を行う。 <p>※担当教員の許可を得ずに履修登録した場合は、単位が認定されません。また、希望するクラスの履修者数が多い場合には、履修できないことがあります。</p>
(8) 自然の探究 人間の探究 社会の探究 新領域	<p>「○○学A」と「○○学B」は独立した科目ですが、「○○学B」を履修する前に「○○学A」を履修しておくことが望ましい場合があります。各科目の『シラバス～授業計画～』を参照して下さい。</p>
(9) 海外教養科目	<ol style="list-style-type: none"> ① ISEP加盟大学、および中京大学海外交流協定大学へ交換留学生として選抜派遣された学生が留学先大学で取得した単位については、原則として全学共通科目にある科目に読み替えてこれを認定します。（成績表上には「N」として認定されます） ② 上記読み替えがきかない科目の中で、教養部が認めた科目については、全学共通科目の「海外教養科目」として認定します。 ③ 「海外教養科目」として認定できる単位数は4単位までとし、1または3単位などの分割認定も認めます。
(10) はたらくこと／ いきること	<ol style="list-style-type: none"> ① 職業選択に伴う諸問題について、早期に考察することを通じ、自分のライフプランを意識した充実したキャンパスライフを創造してもらうことを目的とした科目です。 ② フロート単位として卒業所要単位に含めることができます。 ③ 1・2年次生のみ履修することができます。（原則として3・4年次生は履修することができません）